

■ ガイドライン制定の背景と目的

昨今、SNSでの告知等を通じて、初心者の方が参加できる機会も徐々に増えてきております。  
継続的に練習会を開催していくにあたり、楽しく開催することは勿論ですが、事故の起きないよう安全対策を講じることが最も重要です。また、万が一の際にも備えておかなければなりません。  
そこで、必ず守っていただきたい事項をガイドラインとしてまとめました。  
本ガイドラインを元に、より多くの方々が安全で楽しく継続的に練習会を開催できることを目的とします。

■ 安全に関するお願い事項

参加者の安全を確保する為、以下項目の対応をお願いいたします。

	項目
1	練習会で設定コース内に、コース外から人や車両が進入しないようパイロン等で封鎖するようにすること。
2	オフィシャルはスタートの他にコースオフィシャルを配置すること。スタート指示はスタート単独で行うのではなく、スタートしても問題ないことを複数名で確認してから行うこと（例：計時とスタートのダブルチェック、無線を使用しコースオフィシャルとのダブルチェックを行う等）。
3	基本は走行車両がスタートし、ゴールするまで次の走行車両をコースに入れない単独出走形式で行うこと。また、参加者にも先行車両がゴールしたのを確認してからスタートする旨を強く説明しておくこと（参加者全員に安全確認意識を持たせる）。
4	事故発生の際、ドライバーを救出出来るよう心構えや救出方法、消火器の使用方法、各種旗提示等の行動に対する判断基準をオフィシャル間で認識合わせを行っておくこと。
5	練習会の参加者は有効な保険に加入しておくこと。保険未加入者の走行は認めない。保険はJMRC経由で加入したスポーツ安全保険を推奨する（JMRC共済保険は、クローズド格式の申請を行った練習会でのみ有効。そのためフリーの練習会では無効）。
6	練習会では必ずドライバーズブリーフィングを行うこと。ブリーフィングを欠席した参加者は基本は走行をさせないこと。ブリーフィング資料の例をP3に掲載しておきます。

■ 主催関係者に対してのお願い事項

練習会は主催するオフィシャルの方々がいてこそ安全に開催されます。  
継続的に関係者全員が関わっていけるようにするため、以下についてご協力をお願いいたします。

	お願い事項	理由
1	オフィシャルに対してR項を必ず準備するようにしてください。	・ボランティアで続けるといつか必ず綻びが出てきます。安全のために責任ある存在であるオフィシャルには、お礼の意味も込めて準備をお願いします。ダートラ部会にて行った練習会では、R項8000円としていました。金額はあくまで参考としていただき、配置人数や役務に対しての負担、クラブでの練習会の扱い等を考慮し、それぞれの主催者でご調整いただけたらと思います。 ・普段走行参加している方が、経済面から次回はオフィシャルで参加、といったように選手とオフィシャルを循環を目指すため。
2	オフィシャル初心者の方にはしっかりとルールや役割、判断基準等を教えて頂くようお願いいたします。	・安全確保のためは勿論ですが、役割をはっきりと理解していただくことで、オフィシャルのやりがいを伝えるため。 ・練習会のオフィシャルを通じて、地区戦等でも対応できるオフィシャル教育を併せて行うため。

## ■円滑に練習会を進めるために

円滑に練習会を開催する為、以下項目の実施を推奨します。

	推奨事項	理由
1	練習会当日に走行本数を把握できるようにゼッケン、チケットを受付時に渡すこと。 ※JMRC中国ダートラ部会で管理するゼッケンとチケットがあります。使用したい方はご相談ください	・走行本数を管理することで、時間内に走行を終えられるようにフォローしやすい
2	タイムスケジュールやコース図等はメール等にて事前配布しておくこと。	・集合時間に遅れてくる人の防止 ・個別対応発生によるオフィシャル負担の軽減
3	JMRC中国ダートラ部会にて設定したコース図を練習会コースとして設定を推奨します。 ※推奨であり、強制ではありません	・事前合意済みのコース設定で、設営準備方法なども確立されているため（パイロン数や配置等）。
4	ミスコース防止のパイロンを多めに設定すること。	・初心者が走行する際、ミスコースをすると戻ってくるまで時間がかかってしまうため ・コースが判りづらいと運転ミスによる事故を誘発する懸念が高まるため

## ■継続的に練習会を行うためのお願い事項

ダートトライアルコースはコース整備を行っていただくことで安全で楽しい環境が維持されます。

走行とコースの荒れは切っても切り離せない関係となります。

そこで、練習会機会を多く設けるためにも、以下についてご協力をお願いいたします。

	お願い事項	理由
1	練習会での走行本数は100本を目安とする。	多くの本数を走行することでコースの下地が掘れ、元の状態まで整備するのに手間を要する為（一度に多く走行する練習会を行うと、逆に練習会の機会を増やせなくなる）。
2	基本は午前中の中のみの走行とする。	・コース整備が日没付近にならないようにするため ・散水対応などのコース管理者の負担を減らすため
3	参加料は以下を目安とする。 (一般3000円/人 or 学生2000円/人)+走行1000円/本	・走行本数に応じた料金制度 ・主催者によって料金の差異が発生することを防止するため
4	コース設定は事前にコース管理者と合意しておくこと(当日にコース設定することの禁止)	・コース管理者の負担を減らすため ・事前コース整備による安全性向上

## ■その他補足事項

本ガイドラインは半日の練習会や、決まったコース設定での練習会を強制するものではありません。

本ガイドラインにある安全に関するお願い等を参考に、開催頂ければよいとダートラ部会としては考えております。

その他ご不明点や相談事項がありましたらダートトライアル部会までご相談ください。

皆様のご協力のほどよろしくお願いいたします。

## 【参考】練習会の諸注意事項

### ①練習走行に関する注意事項

- ・スタート地点に並んだら、走行チケット1枚をスタート係に渡してください。ダブルエントリーは自分の名前とゼッケン番号も伝えてください。
- ・前走車がギャラリコーナーを通過確認後、スタート担当の合図が出てからスタートしてください。
- ・ゼッケンは車両の右側に貼り付けてください。
- ・12時終了予定ですので、チケットをぎりぎりまで貯めすぎないようにご協力お願いいたします。
- ・走行中のトラブルが発生し、途中リタイヤする場合はドアを開ける、ハザードを点けるか、クラクションを鳴らすなど意思表示をしてください。
- ・車両トラブル時、危険を感じたら即エンジンを切り、車外に出て車両から離れてください。
- ・車両トラブルで自走でパドックに戻る際はコース図通りに戻ってください。前半区間ではスタート側から、後半区間ではゴール側から戻ってください。  
**絶対にコースを逆走してはいけません！不安な場合はオフィシャルが来るまで待っていてください。**
- ・走行中は長袖/長ズボン/運動靴/ヘルメット着用、窓ガラスを全閉にしてください。
- ・ヘルメットのアゴひもは必ず締めたことを確認してください。
- ・車両の調子の悪い時には無理をして走らないようにしてください。コース上での車両トラブルは処理に時間がかかり、他の練習者の貴重な練習時間を削ってしまいますので、無理をしないようにしてください。
- ・ゴールパイロンを過ぎたら必ず減速し、徐行に切り替えてください。

### ②同乗走行に関するお願い

- ・同乗走行は可ですが、同乗相手に確認をとってから行ってください。トラブルの仲裁は行いません。
- ・初心者の人は、同乗走行させてもらった人の運転を鵜呑みにしないこと。  
**目指す運転の操作内容が頭で理解出来てから真似ること。そうしないと事故ります！**
- ・同乗走行時は以下の事に注意して、同乗者への安全配慮を行ってください。
  1. ロールバーを握らないこと。事故発生時に手を挟み、大けがにつながります。
  2. 走行時、人が乗っている席の窓は全閉にしてください。事故発生時、遠心力で腕が車外に出て、大けがにつながります。  
**2024年の近畿地区ダートトライアル地方戦で4点ベルト、窓全閉していても横転した際、腕が車体と挟まれ複雑骨折する事例も出ています。**
  3. 走行時は、座席やドアの手すりなど、固定の良い場所をつかんだ状態で乗ってください。
  4. 同乗者のヘルメットの顎ひも確認をしてください。事故時にメットが脱げて頭を打つと、脳挫傷等につながります。
  5. 同乗者の手や足が運転手の運転操作を阻害しないよう、手足を支える位置を指示してあげてください。
  6. 同乗者に走行中はシートに頭を押し付けるようにして衝撃やブレーキに備えるよう指示してください。

### ③保険について

- ・スポーツ安全保険に入っているため、通院日額1500円、入院日額4000円まで適用される保険になります。  
練習会中の怪我をした場合、オフィシャルに声をかけてください。
- ・安全最優先で、走るときは勿論ですが、観戦するときも含めて自分の安全は自分で守ることを前提に行動してください。

### ④練習会終了時のお願い

- ・ゼッケンは練習会終了後、返却してください

### ⑤慣熟走行について

- ・フリージング終了後慣熟走行をするので、スタート地点に並んでください。慣熟走行はヘルメットなどなしで、同乗もOKです。

### ⑥リザルトについて

- ・リザルトはコントロールタワー2Fにて集計しております。仮タイムは受付兼チケット受け取り場所でも記載していただくようにします。

【参考】JMRC中国ダートラ部会推奨コース設定 その1

